

夏休みのうちに予防接種を進めましょう

～高1でHPVワクチン未接種の方はそろそろ急ぎましょう～

夏休みは予防接種を進めるのに絶好の期間です。水痘の2回目を3歳未満までに、麻しん風しん(MR)ワクチンを年長さんで、日本脳炎ワクチンの3回目(I期追加)を7歳6か月未満までに、日本脳炎ワクチンの4回目(II期)や二種混合(DT)ワクチンを13歳未満までに、HPVワクチンを高校1年で終了しないと公費ではなくなります。HPVワクチンは15歳以上で開始の場合、標準6か月少しかかりますので、3月31日までに終了しようとしたら、そろそろ余裕がなくなってくる時期に当たります。

HPVワクチンの早期高接種率世代は子宮頸がんでの死亡が100%減

～イングランド、国家レベルの調査結果～

12-13歳時点でHPVワクチン接種率が約88-90%で 2020年から2024年に20-24歳になった女性の集団	100%減
18歳までHPVワクチン接種が提供され、接種率が約63-87%で 2015年から2019年に20-24歳になった女性の集団	80%減
18歳までHPVワクチン接種が提供され、接種率が約63-87%で 2020年から2024年に25-29歳になった女性の集団	69%減

予測される子宮頸がん
での死亡数との比較

2026年6月、権威あるLancet誌にイングランドでのHPVワクチンの極めて高い効果についての報告がありました。12-13歳に高い接種率を達成した世代が、2020～2024年に20-24歳になって子宮頸がんでの死亡を調べると100%減っていると推定されると報告されました。別

に、数年にわたるエビデンスレビューを受けて2023年9月からイングランドではHPVワクチンは2回から「12から13歳に1回接種」に移行しています。早期に1回、高接種率が今後のトレンドになりそうです。

出典:m3.com HP『HPVワクチン接種世代で子宮頸がん死亡100%減、イングランド』、Peter Saieni, Milena Falcaro. Cervical cancer mortality trends following HPV vaccination in England, 2001-24: an analysis of population-based mortality data. *Lancet* 2026; 408(11): 162-168. m3.com HP『英国の子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、1回接種に移行 若年者の接種がより容易かつ費用対効果も向上』、CANCER RESERCH UK HP『England moved to a single-dose HPV vaccine, (21 June 2023)』

最新の各ワクチンの副反応疑い報告状況

ワクチンの種類	重篤な副反応率	ワクチンの種類	重篤な副反応率
<小児のワクチン>		<小児のワクチン>	
ロタワクチン(1価・ロタリックス®)	0.0031%	HPVワクチン(2価・サーバリックス®)	0.0079%
(5価・ロタテック®)	0.0021%	(4価・ガーダシル®)	0.0054%
三種混合ワクチン	0.0016%	(9価・シルガード®9)	0.0019%
四種混合ワクチン	0.0012%	<妊婦さんのワクチン>	
五種混合ワクチン	0.0017%	RSウイルスワクチン(アブリスボ®)	0.0014%
ヒブワクチン	0.0019%	三種混合ワクチン	0.0016%
肺炎球菌ワクチン(13価・プレベナー®13)	0.0019%	<高齢者の肺炎球菌ワクチン>	
(15価・パキュバックス®)	0.0012%	肺炎球菌ワクチン(23価・ニューモバックス®)	0.0018%
(20価・プレベナー®20)	0.0016%	(20価・プレベナー®20)	0.0016%
B型肝炎ワクチン	0.0009%	(21価・キャップバックス®)	0.0000%
BCGワクチン	0.0026%	<高齢者の帯状疱疹ワクチン>	
麻しん風しん(MR)ワクチン	0.0010%	水痘生ワクチン	0.0009%
水痘生ワクチン	0.0009%	帯状疱疹ワクチン(シングリックス®)	0.0009%
おたふくかぜワクチン	0.0016%		
日本脳炎ワクチン	0.0006%		
二種混合(DT)ワクチン	0.0003%		

2025年7月1日の新・こどもと健康No.102でも取り上げました。第112回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会・令和8年度第4回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会が2026年7月24日に開催され、各ワクチンの2026年3月31日までの累積接種回数と医療機関から報告された重篤な副反応報告数、その率が公

表されました。新しい五種混合・20価肺炎球菌(プレベナー®20)・RSウイルス(アブリスボ®)、高齢者の21価肺炎球菌(キャップバックス®)各ワクチンで重篤な副反応が多いという訳ではなさそうです。前回も書きましたが、HPVワクチンも9価のシルガード®9なら他のワクチンと比べて悪くありませんでした。

出典:厚生労働省HP『第112回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第4回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(2026(令和8)年7月24日) 資料2-1、資料2-4、資料2-5、資料2-6、資料2-7、資料2-8、資料2-9、資料2-11、資料2-12、資料2-16、資料2-17、資料2-18、資料2-19、資料2-20、資料2-21、資料2-22、資料2-23、資料2-24、資料2-25、資料2-26、資料2-28、資料2-29、資料2-30』

麻しん風しん(MR)ワクチン不足に伴い、I期・II期・風しん第5期定期接種で迎えたはずの令和7年3月末までの期限は2年延長可能

四種混合ワクチンは製造中止です。代わりに三種混合+ヒブワクチンか、五種混合ワクチンを接種かです。詳しくは2025年8月号(No. 103)をご覧ください。

当科の診療時間帯

2026年8月の
診療時間帯
(予告なく変更する
場合があります)

9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～ 12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～ 17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～ 18:45	何らかの症状のある方(事前予約必要)

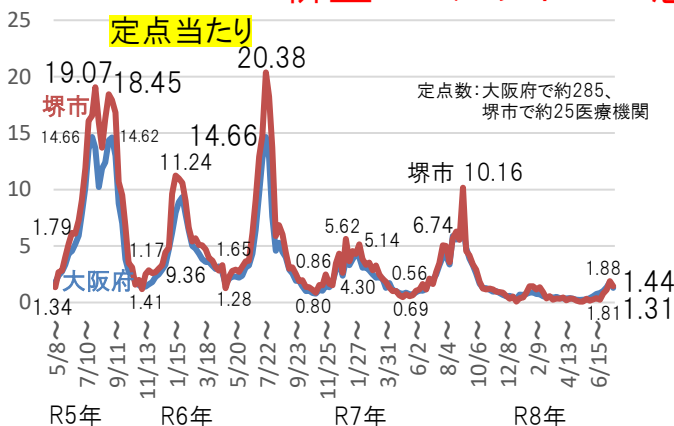
※予約された方は無
断キャンセルしないで
ください。
他の方の受診機会
を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、
気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当院におけるかかりつけ医機能についての掲示内容

- かかりつけ医機能に関する研修の修了者および総合診療専門医について
研修の修了者の有無：有、1.0名、総合診療専門医の有無：無
- 一次診療の対応について
(1) 一次診療の対応ができる領域：○小児領域
(2) 一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患：
○中耳炎・外耳炎、○かぜ、感冒、○アレルギー性鼻炎、○下痢、胃腸炎、○便秘、○皮膚の疾患
- 医療に関する患者からの相談の対応について：可

新型コロナウイルス感染症は増えつつあります



新型コロナウイルス感染症の定点報告数(最近約6か月間)

	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市
R8.2/2～	264	36	3/23～	142	9	5/4～	68	4
2/9～	218	29	3/30～	108	8	5/11～	67	2
2/16～	208	34	4/6～	105	11	5/18～	70	2
2/23～	166	23	4/13～	100	5	5/25～	82	8
3/2～	136	9	4/20～	112	9	6/1～	108	4
3/9～	144	14	4/27～	93	8	6/8～	163	7
3/16～	121	6				7/20～	373	36

新型コロナウイルスの定点報告は増えつつあり、
7月13日からの週に大阪府で1.81(9週連続増)、
堺市で1.88でした。7月20日からの週は若干減り
ました。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症
発生状況2023年 第19週～2026年 第30週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

	検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率
R8.2/2～	13	0	0%	3/23～	10	0	0%	5/4～	1	0	0%	6/15～	3	0	0%
2/9～	3	0	0%	3/30～	2	0	0%	5/11～	1	0	0%	6/22～	2	0	0%
2/16～	4	0	0%	4/6～	3	0	0%	5/18～	4	0	0%	6/29～	2	0	0%
2/23～	1	0	0%	4/13～	4	0	0%	5/25～	2	0	0%	7/6～	3	0	0%
3/2～	2	0	0%	4/20～	4	0	0%	6/1～	0	0	0%	7/13～	5	1	20%
3/9～	3	0	0%	4/27～	5	0	0%	6/8～	1	0	0%	7/20～	4	0	0%
3/16～	4	0	0%												

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、
みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者
数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽
性者数)で計算しています。7月は26日までに陽性
の方が1人おられました。

8月・担当医の変更

1日(土) 片桐→赤澤 22日(土) 片桐→赤澤
8日(土) 片桐→赤澤 29日(土) 片桐→赤澤

時短や休診のお知らせ

8月6日(木) 公務のため、午前を11時20分で終了とさせていただきます。夕方診は通常通りです。
8月11日(火・祝)～16日(日) 夏季休暇とさせていただきます。
9月12日(土) 公務のため、10時45分で終了とさせていただきます。
9月26日(土) 公務のため、休診とさせていただきます。
11月21日(土) 公務のため、休診とさせていただきます。

堺市こども急病診療 センターのお盆体制	受付時間	9日 (日)	10日 (月)	11日 (火)	12日 (水)	13日 (木)	14日 (金)	15日 (土)	16日 (日)
	9:30～11:30	○	×	○	×	×	×	○	○
	12:45～16:30	○	×	○	×	○	○	○	○
	17:30～20:30	○	×	○	×	○	○	○	○
	20:30～翌朝4:30	○	○	○	○	○	○	○	○

堺市こども急病診療センターはお盆期間中の13日(木)・14日(金)の午前に診療はありません。

9日(日)・11日(火・祝)・15日(土)・16日(日)は日・祝体制、10日(火)・12日(水)は平日体制です。

出典：堺市こども急病診療センターHP『お盆(8月13日～8月15日)診療のご案内』